



voice

迷惑を掛けないように
持ち主が心掛ける



所有者(家族)
安井 敏雄 さん(72)
久留美 さん(63)

持ち主だった隣の住民が亡くなり、譲り受けた家。いずれ住むかなと所有者にしていた息子も今は市外に在住しています。今年6月に起こった豪雨で崩れ、1階部分にはがれきが散乱。つかえ棒で支えないと危険な状態になってしまいました。明治時代に建てられた家ですが、熊本地震のときも壊れなかったのも、まさかこんなことになるとは思いませんでした。解体費用には補助金が出たので助かりました。まちづくりをしていく上では、使えるものは活用しながらも、周囲に迷惑が掛からないように、持ち主が心掛けていくことが大事だと思いますね。

現状を知る

年間約80万戸の建物が造られる時代。家が建つのと同時に、増え続けているのが空き家です。全国に約850万戸ある空き家の数は、地域の環境や社会情勢の変化にも影響されます。使われず放置されたままだと、不審者や環境問題など、まちに暗い影を落とすことにもつながります。物件の相続や近隣の状況といった、解決が難しいネガティブな面は多々ありますが、一歩見方を変えようと、空き家はすでにある資源。実は、活用方法はたくさんあります。まずは、使えるか使えないかを判定することから。右上の写真は、かつては住居として使われていたもの。2階部分はつぶれて、家自体が今にも崩れそうな状態です。そこで、所有者の安井さんは市の補助金を使って解体することを決意しました。



老朽危険空き家 除却補助金

上限
50万円

危険家屋の解体に使える補助金。事前調査(不良度判定)の申し込みが必要。
※予算に限りあり
補助率 5分の2
対象 事前調査の結果で必要性が認められる空き家
対象経費 解体・除却費用、廃材などの処分費用など

解体後の宅地は
空き地バンクに
登録できるぞ

バンク物件登録・成約状況

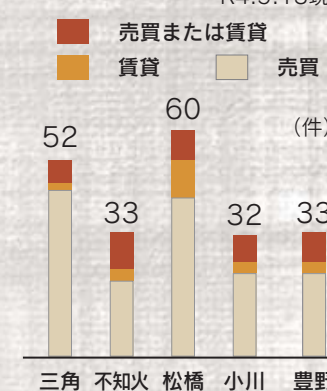
R4.9.13現在

	空き家	空き地
登録	119件	87件
うち成約	65件	34件
募集中	26件	47件

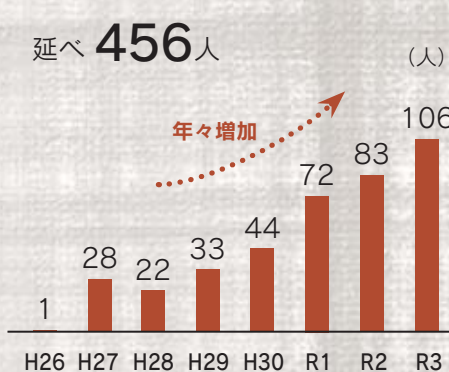
※他に交渉中の物件などがあります。

バンク登録者の希望する物件

R4.9.13現在



バンク新規登録者数



空き家バンクに 物件が足りない!!

宇城市空き家バンクは、徐々に知られ、住居にと探す人々も増え、現在、登録者は延べ456人。しかし、登録されている空き家は延べ119件です。求める人は多くても、物件数が足りていない状況。特に人気の三角、松橋地区に物件をお持ちの人は、ぜひ登録を。